# 私は寅年です

〝おーいホームトラマが始まるよ、トラトラ……〟どこかのテレビコマーシャルであるが、今年の干支は「寅」。

トラは日本にいなかったといわれ、歴史上では五四五年に百斉に使いしたものがトラの皮をもち帰ったのがはじめてだという。

トラは、日本に住まなかったとはいえ、日本には、トラにまつわる諺や伝承文学、絵画でも身近な材料として扱われている。

トラは、子を思う情が深いといわれているところから、「トラの子のように……」「子を思って千里いって千里帰る」などがあり、第二次世界大戦のとき寅年の女性の縫った千人針が軍人に喜ばれたといわれ、〝帰ってくる〟ということからであるという。また、トラは、強く、恐しく、危険な動物であるところから日本にはいる。

年始や新年会で何かと酒がはいり　大トラ、小トラになることも多い、ほど〳〵に……。

さて、こゝに寅年の方から新春の抱負や生活信条などを語っていただきました。

## 青年会史と鮭漁の研究をしたい

横越　市村　正（S13生）

家に伴と寅が二人居て騒々しいが、家庭、謙信、吉田松陰、大久保利通、千葉周作、吉田茂、有島武郎、与謝野晶子等の寅年生れと多彩なので気を良くしている。

例年思う事の万分の一にも実行が伴わなかったが、今年は自分の年でもあり、何とか努力したいと思っている。

明治三十七年創立以来今に続く吾が部落の青年団組織忠誠会の過去をふり返って見たい。

郷土が生んだ大民俗学者小林存先生ありし日、忠誠会倶楽部に於て郷里を語り、忠誠会の忠は口と心の一致の意、誠は天の道なりと説明したと云う。

幸い大先輩が残してくれた史料と部落に少なくなった明治生れの人達が健康に居られる内に七十余年に渡る昔を訪ねて見たい。

合せて横越鮭の本場下部落は、当時鮭に関係しない家が無い位鮭を捕って収入を得、又、楽しんで来たのだが、この捕獲に使われた色々の言葉や漁具をこれも先人の記憶に残る間に聴取したい。

もう一つ禅宗は宗賢寺の佐藤邦雄和尚から先年七、八人で お経を習ったが、「般若心経」の二百七十六文字を暗記したいと思っている。

牛小屋に吹きこむ雪
はげしくて乳量ふるわず
寒九の朝は

## おとし玉　子どもクイズ

次の絵文字クイズをといて答を送ってください。正解者20名の方に記念品をさしあげます。

①
事÷事=0
〔ヒント〕ことわるとそんですよ！

②
3 3 3
3　　3
3　お　3
3　　3
3 3 3
〔ヒント〕バトカー

③
5
〔ヒント〕端数はどうする？

④
父　嫌
〔ヒント〕果物です

⑤
√不
〔ヒント〕楽器です

⑥
さしすせそ服
〔ヒント〕よごれる仕事に必要です

⑦
者卜阝
〔ヒント〕ビタミンがたくさん入ってます

○〆切　昭和四十九年一月二十日
○送り先　横越村公民館
おとし玉子ども クイズ係
村内の小・中学生
○応募資格

○好きな言葉
寛なれば則ち衆を得る
寛則得衆「論語」
孔子の言行

## 中学生になったら五番以内の成績を

木津　笠原　豊（S37生）

十二支の寅は動物の寅のことではなく、自然界の状態を十二の段階に分けて子、丑、寅……と順に符号をつけたのが十二支だそうだ。そして、後の人がこれに動物の名をあてはめただけのもの。寅の本当の意味は、自然界のすべてが春に向って芽をふきだそうとしている状態のことをさしているそうだ。

ぼくは、今年何か大きいことをやってみんなを「あっ」といわせてやろうと思う。

例えば、今までの年みたいに何も勉強しなかった。

中学生になったら期末、中間テストのどちらかが四百点以上で五番以内に入るよう努力することだ。そして部活動にもいっしょうけんめいやり勉強とつりあいをとっていかなければならない。

そのためには、まず小学校のまとめをしっかりやり、友だちとも仲良くしていきたいと思う。

ぼくは、寅年には友情、努力、根性、この三つを目標にして、みんなを必ず「あっ」と言わせてやろうと思う。

## 現在の社会問題などを勉強したい

木津　佐藤　静子（S13生）

「今年はお母さんの年なんだね。」と子どもに言われ、「あっ、そうか、寅年なんだね。生まれてから四回目、お母さんは、三十六才になるのよ。」

子どもが私より大きくなりケンカをすればやっもすれば負けそうになる私である。

近頃、物価高とない〳〵ずくしで、働けど働けど楽にはならない、一日一日がコセコセの連続である。

今思えば、昔の苦しい生活が懐しく思われる。のんびりとした人間の温みがあったようである。

寒い夜、電気がつかず、暖いこたつで祖母から聞かされる昔話〝昔むかし……から始まりいちごがぶらんとさがったとさ〟で終る話など、今の子どもたちにはわからないであろう。

これは親が悪いのだろうかまた世間、テレビ、生活環境が変ったのだろうか。

今はこれでよいのだろうか。

インフレによるいろいろな問題についても、皆んなと考えてみたいと思います。

## 生きがいに輝く生活と感謝の余生

小杉　関根　さを（M35生）

いつでも、どこでも、どんなことに遇っても、ただ泰然としている石、私はそのようなものになりたい。

これはある工場で働く名もない人の詩の一部ですが、私はこの詩から、この人柄と生き方がうかがわれます。

同じ寅年生れでも、みづのえの寅は猛々しいとか元気よく前進するとか、意欲があるというような寅でない。よくいえばおとなしい寅、いいかえれば役立たずの寅だ、もっと強くなれと小さい頃から言われて来ました。

今になってふりかえって見ると昔の人や親のいう言葉に間違いない、その通り、さっぱり何のお役にも立てない寅でした。

でも、この頃の目まぐるしい世代です。じっとしてばかりいられません。

明治、大正、昭和と三代を厳しさに堪え、うれしさに喜びながら歩きつづけた寅年生れです。まだまだ弱音を出されません。

生甲斐に輝く生活を静かに有難く感謝の余生を見出して行きたいものです。

## 観葉植物で生活環境に潤いを

駒込　野崎　礼子（S25生）

女性は、年をとるに従って一つでも若くありたいと思う女心です。

若いうちは、後悔しないように何でもやってみようというのが私の自論で、昨年は、免許を取ったり、趣味を広げて今まで習って来た華道から家の中でも充分楽しめる観葉植物を集めて、部屋に飾ったりし、生活環境に潤を与えてまいりました。

今年は植物を増やしながら出来れば機械編と着物の着付けを習いたいと考えております。

とくに座右銘などと言うものはありませんが、ある日書物で、勉強十戒なる赤尾好夫の文句を知って気に入り、部屋に貼って、時々眺めては、なるほどと頷いたりしております。母校の校訓であれ、手帳の一節であれ、ノートしておく事が好きで、必要に応じ大きな文字で書いて貼っては眺めている私です。

一生に幾度も回って来ない私の年ですので、記念に残る意義深い年にしたいと念じております。

## 健康と人の和をモットー

横越　渡辺　三伊（T3生）

私の好きな言葉は「人との和」です。

老虎で大きい希望はもっていませんが、自分に与えられた役割を果すこと、そしてどんな人とでも心を割って話し合いのできる人になりたい。

また、自分としては、体の健康が大切だと思っています

部落の主人の友だち七人が毎年一泊のおしどり旅行をしておりますが、これも七組の皆さんが健康であればこそと思います。それが人と人との和であると思います。

また、昨年主人が満六十才になりまして、子どもたちが年祝いをやってくれました。私たちと子どもたち夫婦四組、内孫外孫一族一七人で近くの温泉で一日楽しく過して参りました。子どもたちは私共の丈夫な内は毎年やろうと云っております。これも健康と和に結びつくことゝ喜んでいます。

## 水泳にファイトをもやしたい

六年　中村江利子（S37生）

私は、新年を迎えて、今年は次のような事をやってみたいと思います。

一、水泳に力を入れる。
二、自由研究。
三、生活表を作り、きそく正しい毎日を送る。

と、いうような三つの事をやってみたいと思います。

この中でも、最もやりたいものが、水泳です。私は、水泳が大好きです。

いくら泳いでも、泳いでも泳ぎたりないくらいです。今でも目をつぶるとプールのしぶきがみえてくるようです。

私は、どうも平泳ぎの足がうまくいきません。ですからリーダーから、おそわろうと思っています。

私は、好きな水泳に、ファイトをもやして楽しみながら健康を作りたいのです。

## 村の人口

8,012人　1,717世帯（S48.11.30現在）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 横越 | 2,741 | 小杉 | 1,064 |
| 沢海 | 1,623 | 藤山 | 235 |
| 木津 | 1,106 | 駒込 | 142 |
| 二本木 | 1,101 | | |

## 新春囲碁将棋大会

日時　49年1月27日（午前9時から）
会場　横越村公民館
参加申込　昭和49年1月20日　横越村公民館へ
競技内容　○囲碁―中学生、高校生、一般、高令者（60才以上）の各部
○将棋―小学生、中学生、高校生、一般高令者（60才以上）

## 新春　横越村俳句大会

期日　昭和四十九年一月二十日
場所　横越村公民館
兼題　（三題六句）
(1)風花　(2)あおき　(3)炬燵
兼題〆切　一月十二日
横越村公民館必着
席題　当日午前九時三十分発表
選者　東城雲秋・今井天花
小林竹生・桑野松雪
野崎蘆舟・小林柴水

祈成功　水と緑のまごころ国体
姉妹村　茨城県　美浦村に
馬術競技開催
S49.10.20 ～ 10.25